

第4章

計画の進行管理

1

推進体制

(1) 市民、市民活動団体、事業者、行政の取組みの基本的な考え方

本計画の推進にあたっては、市民、市民活動団体、事業者、行政が目標を共有化し、それぞれが所有者、利用者、管理者としての役割を担い、連携し、持続的に取組んでいく必要があります。

みどりのまちづくりに関わる各主体の基本的な取組みは次のとおりです。

●市民

みどりとの積極的なふれあい、維持管理等の活動への参加、自主的な学習。

土地の所有者は、緑地の保全や緑化。

●市民活動団体

積極的な維持管理活動、組織の活性化、みどりの情報発信・提供、普及啓発。

●事業者

みどりのまちづくりへの参画・協働、積極的なCSR活動。社屋の緑化。社内におけるみどりの普及啓発・技術開発・情報提供。

●行政

市民活動団体等の担い手への支援や育成、市民・市民活動団体・事業者のコーディネート。CSR活動との連携、顕彰、情報提供、普及啓発。先導的な取組み。持続可能な体制の構築、庁内連携の強化。

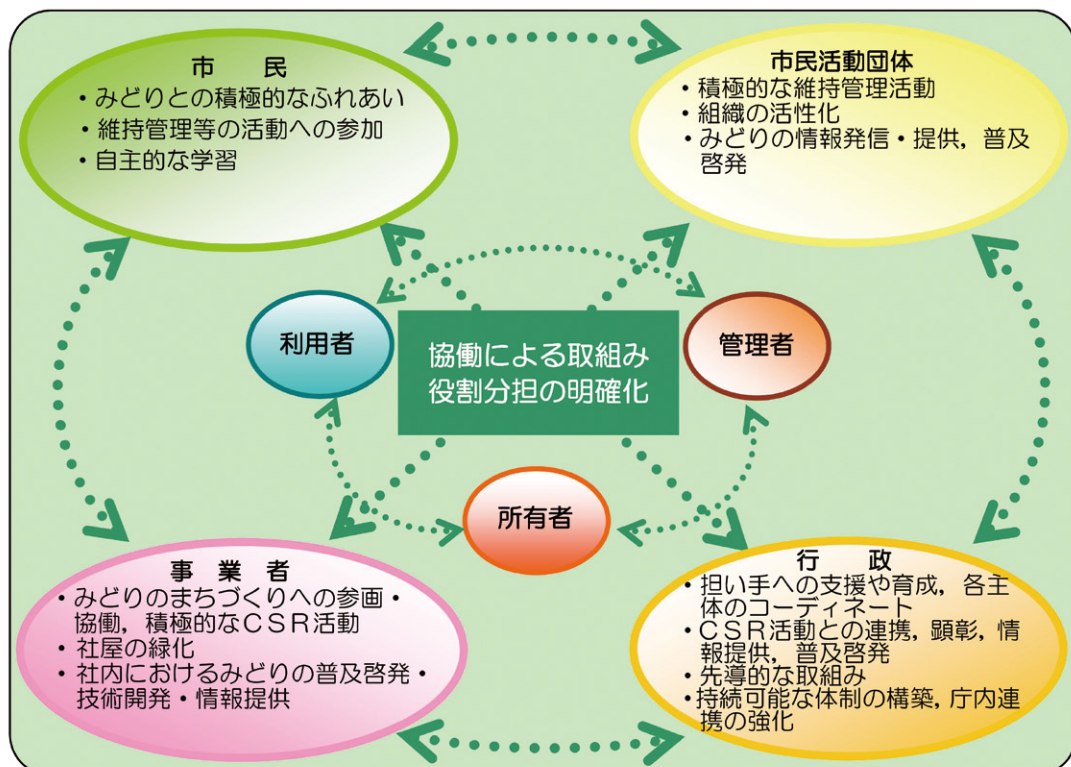


図 - 34: 各主体の役割分担の概念図

(2) 第三者機関や市民による評価

本計画に掲げる施策や事業の実施状況や成果指標の達成状況について定期的に点検・評価を行い、杜の都の環境をつくる審議会に報告します。

また、それらの点検・評価結果についてはホームページなどでも公開し、広く市民と共有するとともに、定期的にもどりの市民意識調査を実施することにより、評価を行います。

(3) 庁内連携の強化

本計画の掲げる理念を実現していくためには、百年の杜推進部をはじめ庁内の各局・区が率先して施策・事業に取り組んでいくとともに、庁内各局が連携し、共通の意識をもって施策展開を図っていく必要があります。そのため、新規に施策を実施する際など、適宜連絡調整会議を開催し、効率的で効果的な施策・事業展開を図ります。

(4) 関係機関との連携

国有林や県有林、仙台港の港湾緑地や宮城野原公園などの公園緑地、名取川や広瀬川、七北田川など、国・県が管理するみどりは、本市においても貴重なみどりとなっています。また、国の施設や大学、駅などの公共空間も、みどり豊かな空間を形成する上で欠かせないものとなっています。そのため、奥山、里山、市街地、田園、海岸の各エリアにおいて、これら国・県、公益企業などの関係機関と十分に連携を図りながら、本計画を推進します。

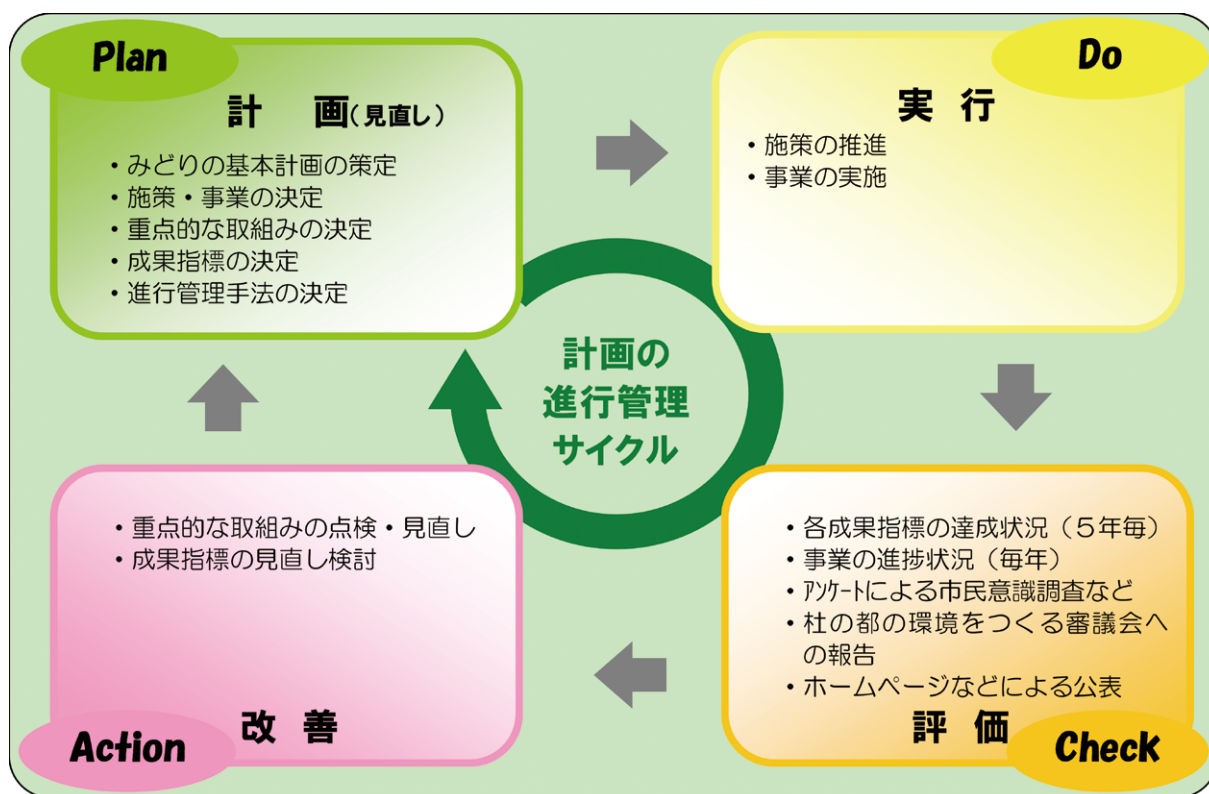
また、(公財)仙台市公園緑地協会は、都市公園の管理運営やみどりの普及啓発において、重要な役割を担っています。本協会と連携し、市民ニーズに応じたソフト事業などを展開します。

2

進行管理

計画の推進にあたっては、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）のPDCAサイクルに基づき、適切な進行管理を行います（図－35）。評価は、毎年度、事業の進捗を把握するとともに、中間年度（令和7年度）には、成果指標として設定する「計画全体の指標」（表－12）及び「5つの基本方針ごとの指標」（表－13）の達成状況の確認とみどりの市民意識調査や緑の分布調査、緑視率調査等を実施し、中間見直しを行います。なお、必要に応じて、本計画の策定に携わった「杜の都の環境をつくる審議会『仙台しみどりの基本計画』改定検討部会」委員をはじめとする同審議会委員にヒアリングを行うものとします。

計画期間は10年間（令和12年度まで）としていますが、社会情勢の変化などに対応して、施策・事業、目標・指標、重点的な取組み（百年の杜づくりプロジェクト）などを見直すこととします。



図－35：計画の進行管理サイクルの概念図

(1) 計画全体の指標

本計画を推進していく中で、全体の目標となる指標

表 - 12：計画全体の指標

指標の概要		基準値(R1)	目標値(R12)
指標1※1	市域全域の緑被率 〔「仙台市緑の分布調査」からの引用〕	78.4%	維持・向上
指標2※1	都市計画区域内の 都市公園等※2の市民一人当たり面積	18.6㎡	20㎡
指標3	百年の杜づくりに対する市民満足度 〔「施策目標に関する市民意識調査」からの引用〕	69.5%	現在より向上
指標4	身近なみどりに対する市民満足度 〔「みどりの市民意識調査」からの引用〕	34.7%	40%

※1 指標1, 2の設定について

指標1, 2は前計画では「みどりの量に関する目標」として設定されていたものです。自然が持つ多様な機能を活用していくためには、ストックの適正な維持管理によるみどりの質の向上に加えて、緑地の保全や公園空白地の解消、街路樹植栽や民有地緑化によるネットワークの維持・形成などにより、引き続きみどりの量の充足等にも取り組んでいく必要があります。前計画に引き続き、これらの指標を設定することでみどりの量の向上を図ります。

※2 「都市公園等」で対象となるみどり

- ・都市公園
- ・都市公園を除く公共施設で次に掲げる施設

屋外運動場を有する運動施設、墓園、児童遊園、港湾緑地、文化財関係施設、生涯学習関係施設

①指標1について

5年に1度実施する「仙台市緑の分布調査」結果を使用します。

②指標2について

年度ごとにその前年度までに供用が開始された都市公園及び対象となる公共施設の数量、人口動態（その年の4月1日時点の住民基本台帳の数値を参照する）を把握し、算出します。

③指標3について

毎年実施する「施策目標に関する市民意識調査」結果（百年の杜づくりを評価する（「評価する」＋「どちらかといえば評価する」の合計）市民の割合）を使用します。

④指標4について

5年に1度実施する「みどりの市民意識調査結果」結果（身近なみどりが量と質ともに十分であると感じている市民の割合）を使用します。

(2) 5つの基本方針ごとの指標

各方針において計画期間内に重点化する事業・取組みに対して、達成状況を確認するための指標

表 - 13 : 5つの基本方針ごとの指標

指標の概要		基準値(R1)	目標値(R12)
方針1 (みどりと 共生するまち)	公園緑地等における浸透施設整備により雨水流出抑制が図られた面積	—	R12年度までの 10年間で 87,000㎡増
	身近な生きもの(9種)の認識度	ツバメ75.2% ほか	全ての種で 現在より向上
方針2 (みどりで 選ばれるまち)	新たに民間活力を導入する公園施設数	—	R12年度までの 10年間で 4か所
	仙台都心部緑化重点地区における ①緑被率・②平均緑視率	①14.2% ②31.0%*	①14.3%以上 (面積換算で 約3ha増) ②33%
方針3 (みどりを 誇りとするまち)	街路樹の再生(更新路線数)	—	R12年度までの 10年間で 10路線実施
	仙台ならではのみどりを活用した(名木・古木めぐりなど)イベント開催件数	10回/年度	10回/年度以上
方針4 (みどりとともに 人が育つまち)	身近な公園の役割が子どもを遊ばせる場所と回答する市民の割合の増加(みどりの市民意識調査)	62.6%	現在より向上
	コミュニティを育むみどりの市民活動団体の結成数	1,358団体	1,460団体
方針5 (みどりを大切に するまち)	公園施設改修件数	—	R12年度までの 10年間で 延べ1,200公園
	ふるさとの杜再生プロジェクトのイベント参加者数	—	R12年度までの 10年間で 延べ2,000人

※令和2年度実績